

# SUZUKI HEALTH TOMORROW

Vol.338

R1.6



## 医療法人 浩生会スズキ病院

〒176-0006 東京都練馬区栄町7-1 TEL: 03-3557-2001

HP: <https://suzuki-hospi.or.jp/>

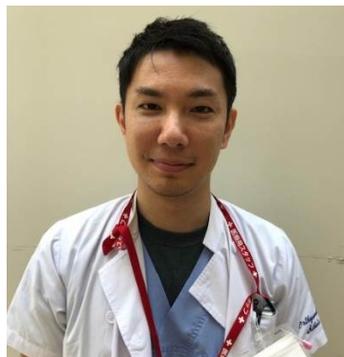


東京都指定2次救急医療機関  
(財)日本医療機能評価構認定病院  
人間ドック・健診施設機能評価 認定病院  
日本外科学会専門医制度関連施設  
機能強化型在宅支援療養病院



## 入職のごあいさつ

整形外科医師 柴田 俊



令和元年5月より、スズキ病院へ入職いたしました柴田と申します。スズキ病院では主にリハビリテーション科、整形外科に関して入院および外来患者様を担当させていただきます。

私は大学病院などで整形外科を専攻した後、回復期リハビリテーション病院にて数年勤務しておりました。そちらでは、整形外科疾患にとどまらず、脳卒中やパーキンソン病など脳神経疾患など幅広い患者様の主治医として、在宅復帰や機能改善のためリハビリテーションおよび疾患管理を中心とした診療を多く経験しました。もちろん、専門的な治療が必要な場合には

専門医へのコンサルトを必要としますが、単科にとどまらないプライマリ診療は私自身の医師像を大きく変えるものでした。

リハビリテーションの理念として、ICF（国際生活機能分類）をもとに、患者様の「心身機能」「活動」「参加」の3つの視点から患者を全人的に診るという考えがあります。整形外科で診療している頃は主治医や執刀医として、直接患者様の機能改善にかかわれるというやりがいがありました。リハビリテーションはそれとは違い、患者様のもつ様々な疾患の管理にとどまらず患者様が自宅へ帰り、社会復帰や趣味を再開するなどして喜びの声をいただく、その後の人生にかかわれるというのは医師として大変な喜びでした。まさに、「全人的な医療」というものを体験したと思います。

近年の人口の高齢化、疾患の多様化、要介護者の増加などが問題となっているなか、医療は「病院完結型」から「地域完結型」医療への転換を求められています。2014年の診療報酬改定にて地域完結型医療を目指す「地域包括ケアシステム」を担う病棟として地域包括ケア病床が新設されました。サブアキュート、ポストアキュートそして在宅支援を主軸として全人的な医療を提供するというものです。今後の医療の中心となる病床ではないかと思えます。

そんな中で、スズキ病院より地域包括ケア病床立ち上げにあたり、整形外科およびリハビリテーション科での経験を生かして働いてみないかとのお誘いをいただきました。回復期病棟では、主にポストアキュート、在宅支援を経験しました。地域包括ケア病床は回復期とは異なり、サブアキュート機能をもつというところに大きな違いがあるかと思えます。やはり、患者様の中には急性期を脱しても病状が不安定であったり、在宅生活中でも入院治療が時折必要になる患者様も多くいます。未だ発達段階のシステムではありますが、今後の日本の医療体制において大きな課題としてあげられるものかと思えます。私自身、はじめての試みも多くありますが、スズキ病院にて全人的な地域完結型医療を目指すにあたり、非力ながらお力添えできればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

# 口腔ケア ～ こうこうケア ～ はじめます

## 第1回

病棟看護師 山口澄江

病棟看護師の山口です。私は日本口腔ケア学会に所属しています。勉強したことの中で、日常に役立つことを紹介できればいいなと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

1回目の今回は、『口腔ケア』とはなにか…です  
日本口腔ケア学会が編集している「口腔ケア基礎知識」※1)のなかでは

『口腔の疾病予防、健康の保持増進、リハビリテーションによりクオリティ・オブ・ライフの向上をめざした科学であり技術である』※2)と定義されています。

ざっくりと読み解くとすれば

『口の中の病気を予防し、健康を保ちながら、幸せだなと感じれるようになるための方法』ということになるでしょうか…。

私たち看護師は、実際の歯みがきや口の中の観察を通して患者さんに少しでも生きがいや幸福感が得られるよう看護していくことを目指しています。

次回からは、より具体的で日常の場面に役立つことがらについて、載せていこうと思います。

引用文献

※1)『改訂版 口腔ケア基礎知識 口腔ケア 4級・5級認定資格基準準拠』 永末書店 2017

※2)『口腔ケア実践マニュアル』日総研出版 1994



## 患者さんの権利

- 平等で、質が保護された最善の医療を差別なく、継続して受ける権利
- 医師や病院の選択の自由と、セカンドオピニオンを受ける権利
- 診断・治療に関する情報を得て、同意または拒否する自己決定権
  - ・意識喪失患者は、家族または法廷代理人の同意が必要（緊急時は例外）
  - ・法的無能力者も、家族または法廷代理人による本人の意思決定への参加
  - ・患者さんの意思に反する処置、治療は法の許容範囲内で例外的に実施
- 十分に説明を受ける権利と共に、知らされない権利
- 医療に関する秘密が保持され、個人情報保護される権利
- 予防・早期発見と医療を選択する権利と自己責任
- 尊厳を尊重し、苦痛のない人間的な終末期ケアを受ける権利
- 聖職者による霊的・倫理慰安などの宗教的支援を受ける権利



# リハビリ便り

「 本人の自発性を引き出し、一人でトイレが可能に 」

作業療法士 岸井 昭生

私は患者と接する時、気持ちに寄り添い、傾聴を最重要視し、本音＝コアニーズを導き出すことを心掛けています。そして自分の知識や経験の引き出しを開き、必要なものを提案、提供しています。最近、その活躍頻度が高いのがスライディングシート「スピラドゥ」。福祉先進国、北欧デンマークでは最も支持されているスライディングシートであり、日本に来てまだ一年半の商品です。

最近のあった事例をご紹介します。

自宅内で転倒し、腰椎圧迫骨折と診断され入院となった患者 M さん(80 代男性)。骨粗鬆症により脊椎の圧壊が進み、主治医から硬性コルセットが処方されました。横になっている時以外は装着するよう指示されていたため、寝たまま着脱する必要があります。本人、奥さんの力では困難であり、るい瘦も認められるため皮膚損傷のリスクもあります。そのため看護師の全介助で着脱していました。本人の希望は「トイレにひとりで行けるように」。ご自宅のベッドからトイレの動線には手すりがあるため伝い歩きでの移動は可能。便器への移乗、トイレ内動作も自立できそうです。コルセットの脱着さえできれば本人の希望が達成できると考え、短期目標を「コルセット着脱自立」と設定し本人、奥さんと目標を統一しました。ここで「スピラドゥ」を使った方法を検討。身体の下に折りたたんだ 2 枚の「スピラドゥ」を敷き込み、その間にコルセットを臀部から差し込むのです。奥さんの協力を得ながら本人主導での着脱が可能となり、めでたく笑顔でご自宅復帰となりました。

「スピラドゥ」の特徴は、大きさを自由にカットし設定できること、滑る方向が 360° 全方向可能、柔らかく弾力があり肌になじみやすい—という点です。滑ることで摩擦の低減が図れるため、介助量を軽減し介助者の身体を守ることができます。また、動くことが楽になるため本人の自発性を引き出すこともできます。移動、移乗はもちろん、衣服や弾性ストッキングの着脱などにも使用できる活躍範囲の広さが魅力です。今後も発想次第でまだまだ可能性が広がると思います。

日本人の多くは福祉用具を使うことに対し「手間がかかる」「衰える」「最終手段」という否定的な発想が根強く残っています。特に病院では、多くのところでそのような傾向が見受けられます。2025 年には国民の 4 人に 1 人が 75 歳以上という超高齢化社会に突入します。できることまで手を出して介助しているとお互い疲弊していきます。福祉用具を使うことで、本人の自発性を引き出し活動に結び付ける。介助者の楽こそ本人の安楽です。

本人と介助者双方が、笑顔で会話をしながら関われる” Win-Win ” の関係を築いていきたいものですね。

【着け方】



【外し方】



## ブランクのある看護師の復職を応援しています



当院では、医療の動向に関する講義、採血や注射等の演習、病棟実習などをプログラムに入れた、ブランクのある方のための研修を開催しています。この研修を受けて復職した方が沢山います。もちろん当院に就職した方もいます。今年7月と11月に研修を実施する予定になっています。今回この研修を受けて復職した看護師のインタビュー記事をご紹介します。



### 4月に復職した 外来看護師 N.Yさん

☆復職支援研修を受講したきっかけを教えてください。

「16年のブランクがあり、看護師として復職する前に今の医療と看護を知るために受講しました。」

☆実際に受講してみた感想を教えてください。

「7日間コースを受講しました。そのうち2日間は病棟で研修させていただいたので、就職したらどんな感じになるのかをイメージしながら働くことができました。マンツーマンで指導や説明を受けられたので、とても勉強になりました。患者さんのケアも指導者看護師と一緒にやらせてもらい、昔の感覚を少しずつ取り戻せたように感じました。」

☆当院を選んだ理由を教えてください。

「ハローワークで看護協会主催の復職支援研修があることを教えてくださいました。就職活動とスズキ病院の研修時期が重なり、自宅とも近かったので選びました。」

☆看護師として復職し、実際に働いてみてどうですか。

「就職して1か月が経ちました。ブランクがとても長かったので先輩看護師はチェックリストを作成して教えてくれています。皆さんとても親切に丁寧に指導して下さるので、一生懸命頑張っ業務を覚えているところです。自分の希望する働き方で働かせてもらっていることに感謝しています。早く仕事を覚えてスタッフの一員として活躍できるようになりたいと思います。」



研修のお知らせは6月中旬以降ホームページに掲載します。

興味のある方はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 担当：薬剤科事務 佐藤

## 「ぷるぷる苺ゼリー」

春になると苺がたくさんお店に並びますね。  
デザートに甘酸っぱいゼリーはいかがですか？

### 〈材料〉 (3人分)

- いちご …1/2パック以上
- ゼラチン …5g
- グラニュー糖 …35g
- 水 …150ml

(1人当たり約80kcal)



### 〈手順〉

1. ゼラチンに大さじ2杯の水を入れて混ぜておきます。
2. いちごのヘタを取り、半分に切ります。
3. 鍋に水150ml、グラニュー糖、いちごを入れて沸騰させます。  
グラニュー糖が溶けたら火を止めてすこし冷まし、工程1で混ぜておいたゼラチンを入れて溶かします。
4. 容器に流し入れ、冷蔵庫で冷やします。
5. 固まったら完成です。

### ★ポイント★

- いちごが甘ければグラニュー糖の量を減らす、等すると甘すぎないように作れます。
- レモン汁をちょびっと混ぜてもおいしいです！



診療科目・診療担当者表

2019年 4月 1日 改訂

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	糖尿病内科	澗潟					
	消化器外科・外科	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長	病院長
			平野		菅	新井田	
	循環器内科			鈴木(臣)☆	福田☆		
	呼吸器内科			加藤☆			加藤☆
	整形外科		坂本				
	訪問診療	鈴木(小)	古川	町田	鈴木(小)		
リハビリ		植田		植田			
午後	内科	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)	鈴木(牧)
	消化器外科・外科		平野		菅		平野
	整形外科(2:30~)		坂本		加藤英		坂本
	呼吸器内科						第2週休診 Pm2:00 ~
	泌尿器科	吉山					
	訪問診療	鈴木(小)	古川	町田	鈴木(小)	鈴木(小)	鈴木(臣)
	リハビリ		植田		植田		

※ 診療日：月～土曜日 休診日：日祝祭日。(急患の方は、24時間受付しております。)

※ 診療受付時間：8：30～11：30、13：00～16：30

※ ☆：予約制です。

